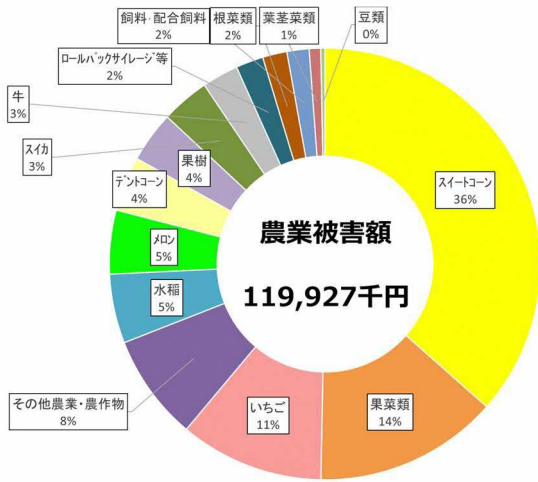


# コラム アライグマによる農作物被害



令和元年度(2019年度)のアライグマによる農作物被害額の内訳は下図のとおりであり、スイートコーンに占める割合が約4割と高い傾向にあります。



作物名	被害額 (千円)
スイートコーン	43,785
果菜類	16,547
いちご	12,963
水稲	6,218
モロ	5,725
デントコーン	4,927
果樹	4,560
スィカ	4,337
牛	3,270
ロールバックサイレージ等	2,475
飼料・配合飼料	1,991
根菜類	2,186
葉茎菜類	1,032
豆類	380
その他農業・農作物	9,531
牧草	1,248
農業施設	609
計	119,927

触る前に  
読んで!

## アライグマに触れる際の注意事項

- ◎ 感染症防止のため、必ずゴム手袋などを着用！
- ▶ アライグマは、様々な病原菌等を保有している可能性があります。作業中は、必ずゴム手袋を着用しましょう。
- ▶ 作業中の飲食や喫煙も感染する恐れが高いので控えましょう。
- ▶ 作業終了後には、手洗いうがいをしっかり行いましょう！

- ◎ 体調に異変を感じたら病院へ！
- ▶ 万が一、作業中にケガを負ったり体調に異変を感じた場合は、速やかに病院に行きましょう。

# ポケット アライグマ

vol. 4

## ～スイートコーン被害割合算出編～

### 目次

- ・被害を受けてしまった……2
- ・簡易的なスイートコーン被害割合計算……2
- ・アライグマによる農作物被害……4
- ・アライグマに触れる際の注意事項……4



※本資料P.2～3の内容は下記の報告書を引用して作成しております。  
「アライグマ防除に係る地域戦略策定のための研究」  
北海道立総合研究機構産業技術環境研究本部エネルギー・環境・地質研究所

北海道環境生活部環境局自然環境課

# 被害を受けてしまった……

アライグマによる被害を受けた場合、今後の被害対策のためにも、まずは被害の実態を把握してみましょう！

## 簡易的なスイートコーン被害割合計算について

- ☑実施するのは、「畑周りの調査」「簡単な計算」のみ！
- ☑「畑周りの調査」は、畝周りを少し歩きます！
- ☑用意するものは、メジャーと筆記用具と電卓の3点！

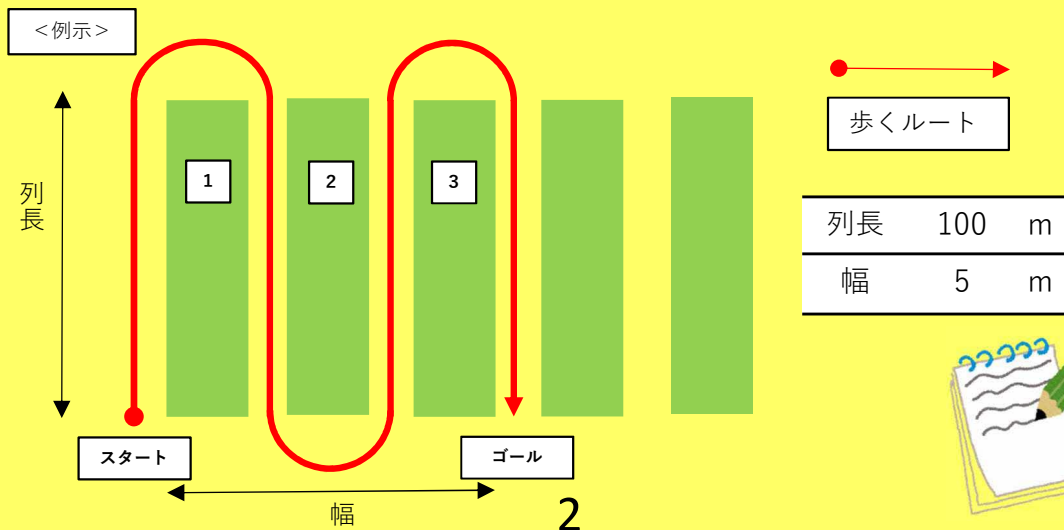
さあ、始めてみましょう！

### STEP1：実施時期

登熟期である7月～8月に実施しましょう！

### STEP2：実施箇所を選ぼう！

畑の中で最も収穫に近いスイートコーン3列と調査ルートを選びます！（後の計算のために1列の長ささと3列分の幅も計測しましょう！）



▲谷折り▼

### STEP3：被害本数を数えよう！

調査ルート上のスイートコーンの被害本数を数えます。

⇒土の上に横たわっているものや幹についた状態など。  
被害の写真は、ポケットアライグマvol.3に掲載されています。

### STEP4：被害割合を計算しよう！

#### ①10aあたりの被害本数

$$= \text{被害本数} \times \left( \frac{1,000}{10 \times 100(10a \text{に換算するため})} \right)$$

#### ②10aあたりの被害量

$$= 1 \text{本あたりの平均重量} \times 10a \text{あたりの被害本数}$$

#### ③10aあたりの被害割合（想定割合）

$$= 10a \text{あたりの被害量} \div \text{目標生産量}$$



### 計算例

#### ①10aあたりの被害本数

$$100 \text{本} \times \left( \frac{1,000}{100 \text{m} \times 5 \text{m}} \right) = 200 \text{本}$$

計算式で用いたデータ		
被害確認数	100	本
列長	100	m
幅	5	m

#### ②10aあたりの被害量

$$450 \text{g} \times 200 \text{本} = 90 \text{kg}$$

※北海道野菜地図のデータを参照しました。  
計算していただく際は、各々の実態にあったデータを活用願います。

#### ③10aあたりの被害割合（想定割合）

$$90 \text{kg} \div 1,200 \text{kg} = 7.5\%$$

被害割合は、7.5%